

## 【作り方説明書】

## 女袴の型紙

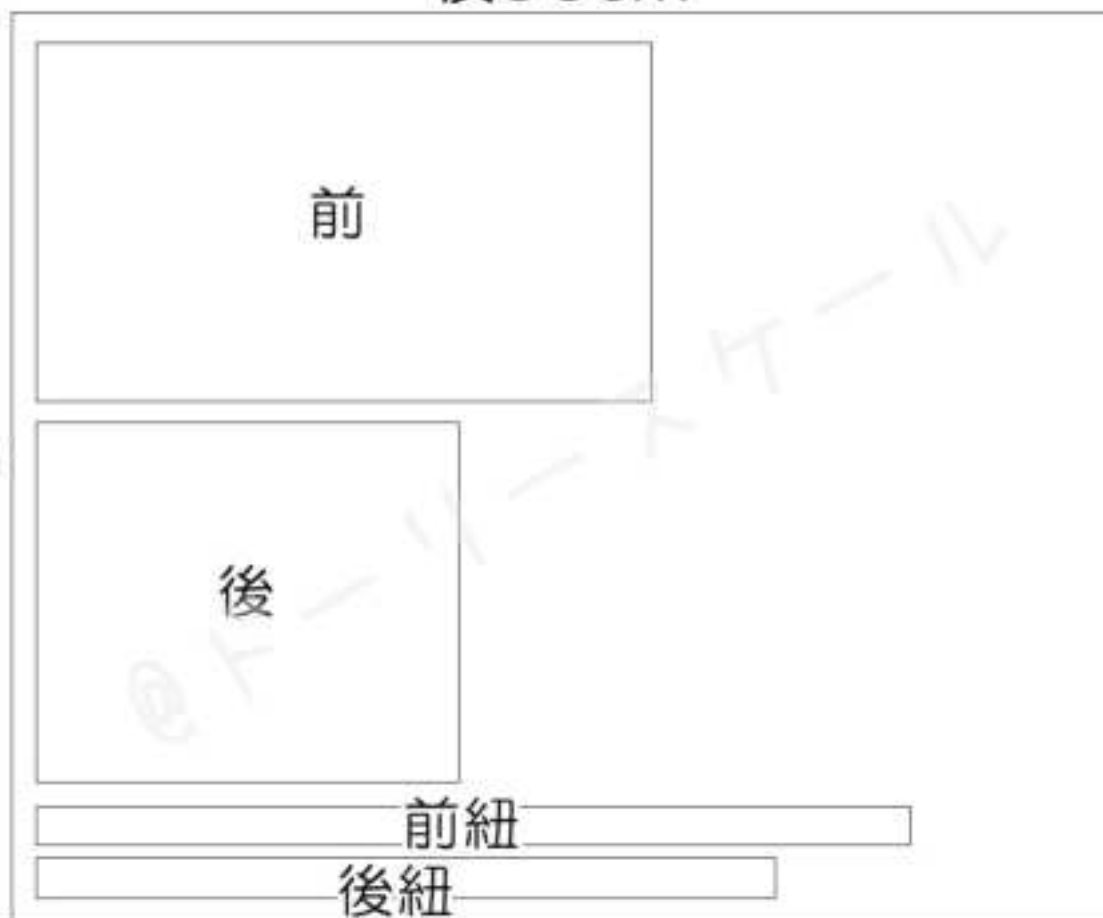
<p>■詳細対応サイズ</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 40cm ソフビ</li><li>・ 50cm ソフビ</li><li>・ 58cm ソフビ M,L,LL</li></ul> <p>(スマド未確認)</p>	<p>■難易度</p> <p>イージー / 【ノーマル】 / ハード / ハード↑ / エクストラ</p>
<p>■サンプル使用生地の厚み</p> <p>0.23mm</p>	<p>■用意するもの</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 普通～やや薄手の生地</li><li>・ 折り目加工液</li></ul>
<p>■手縫い可否</p> <p>OK</p>	<p>■布に書き写すパーツリスト</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①後紐 1枚→そのまま1枚</li><li>②前紐 1枚→ //</li><li>③前 1枚→ //</li><li>④後 1枚→ //</li></ul> <p>合計：4枚 のパーツで構成</p>

■必要な布量参考数値

## 【女袴の型紙 40cm】

横90cm

縦75cm



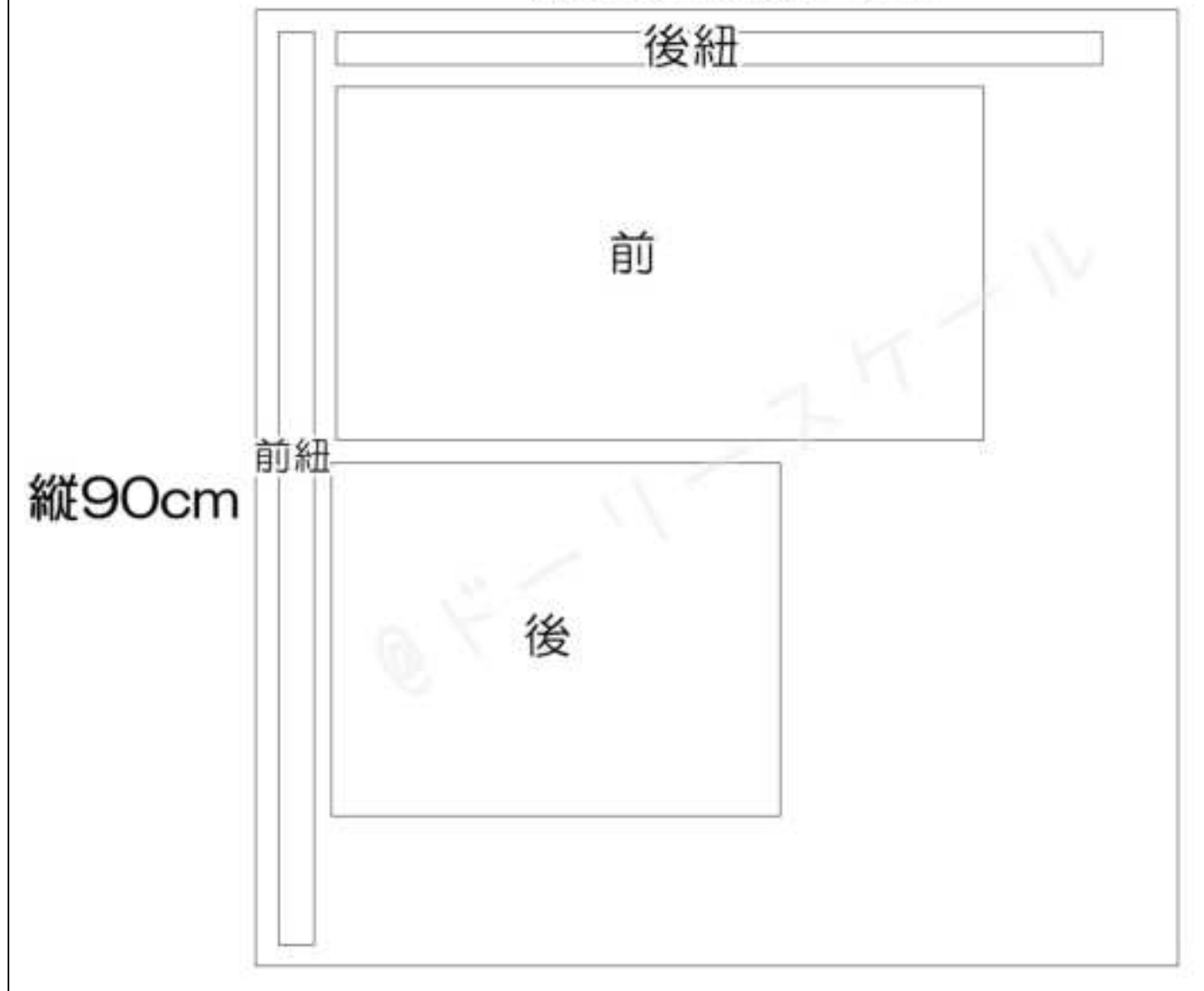
## 【女袴の型紙 40cm】

横110cm, 140cm

縦43cm



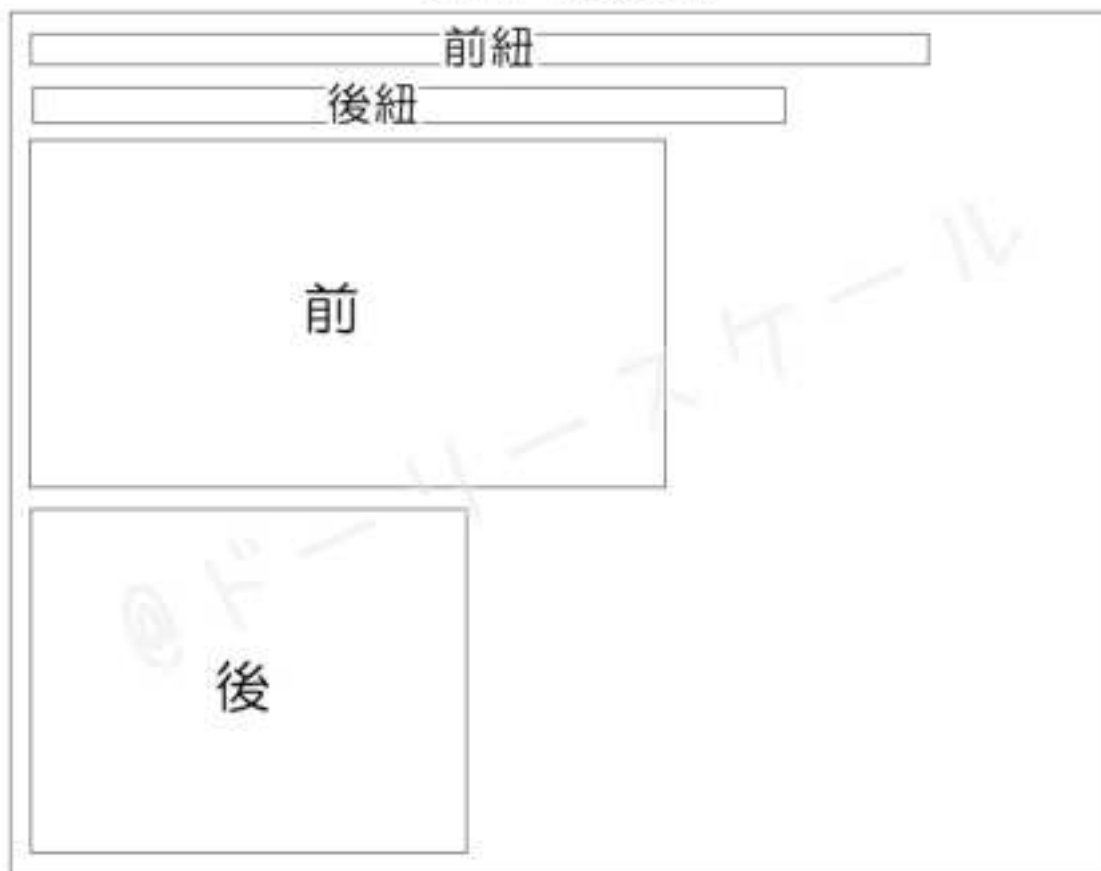
【女袴の型紙 50cm】  
横90cm(縦置き)



### 【女袴の型紙 50cm】

横110cm

縦86cm



### 【女袴の型紙 50cm】

横140cm

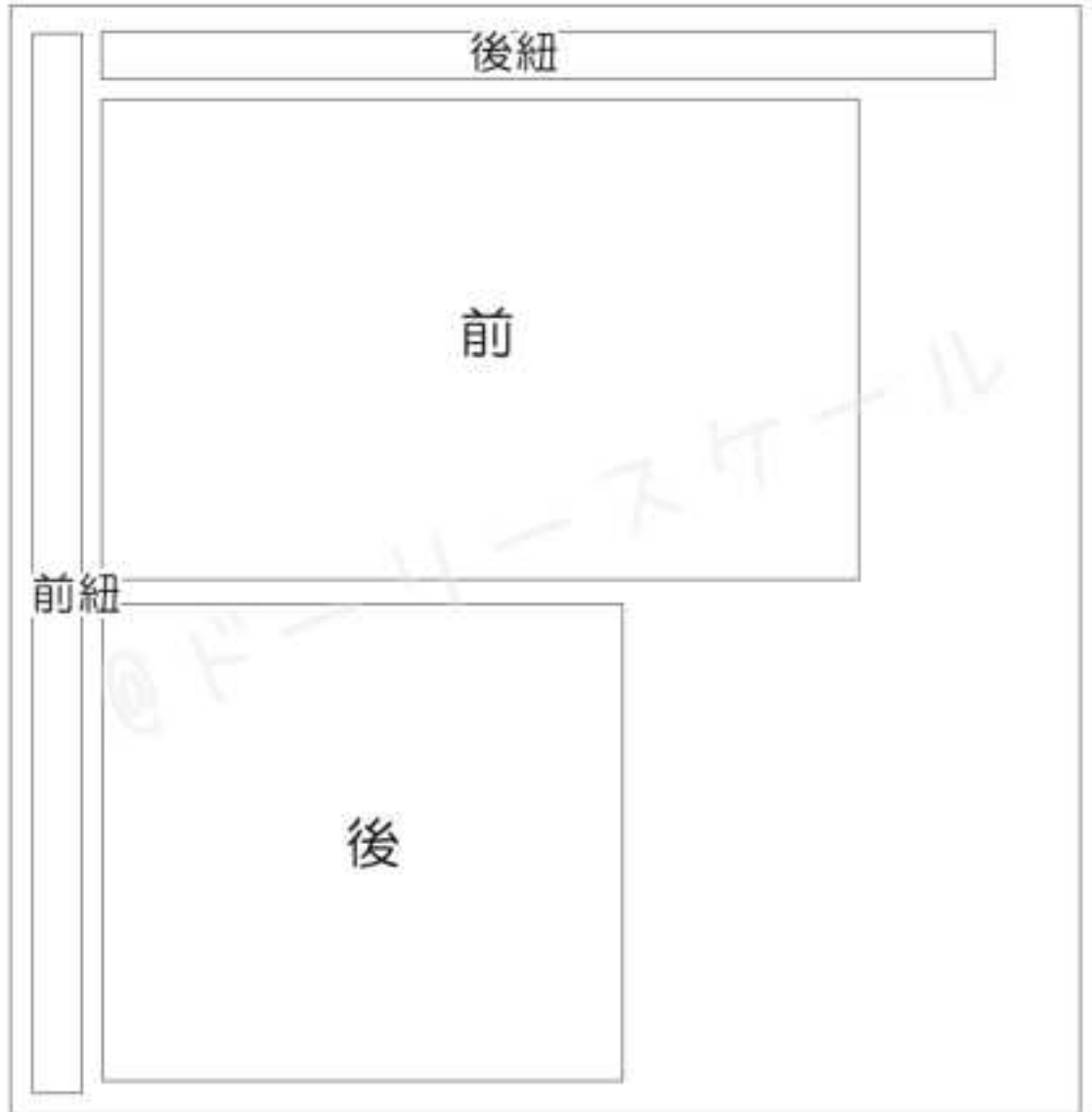
縦50cm



# 【女袴の型紙 58cm】

横90cm(縦置き)

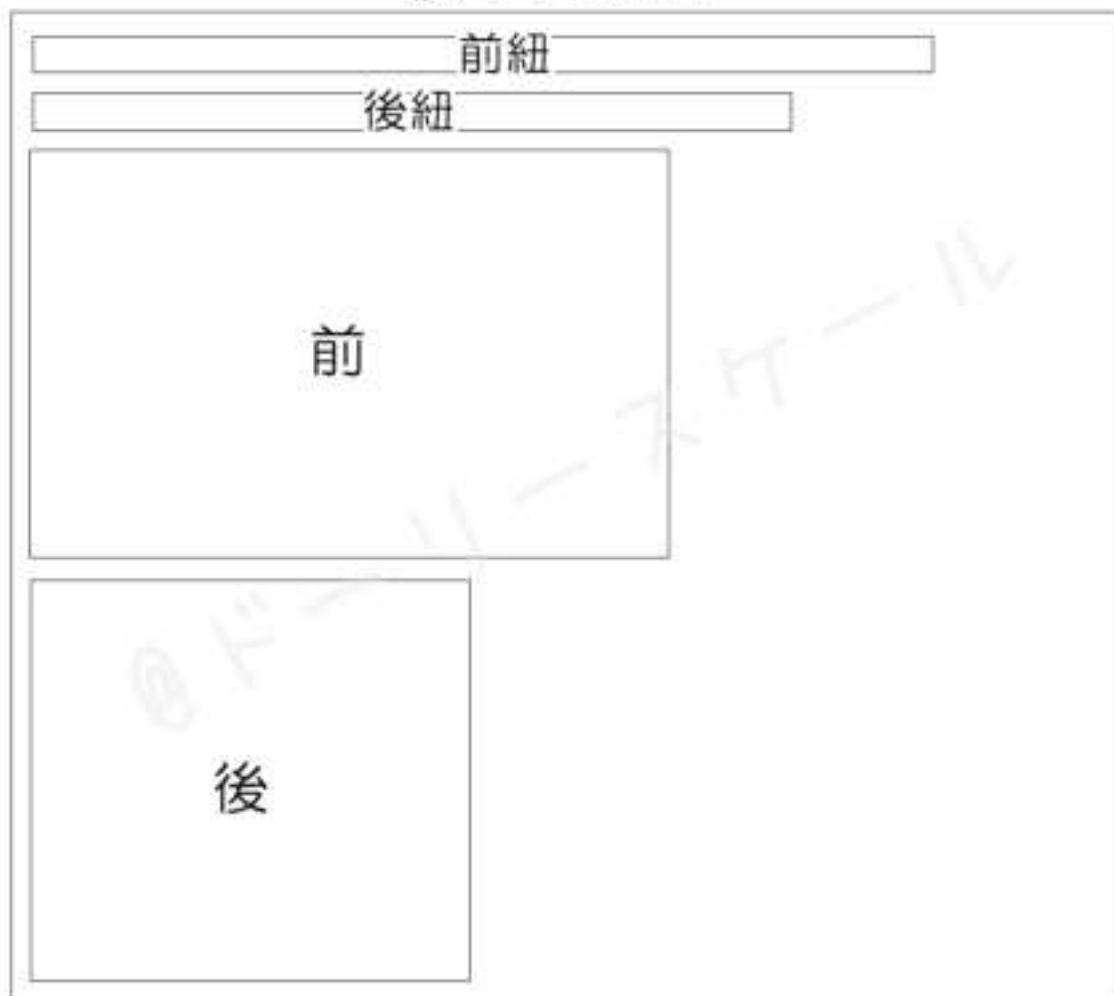
縦94cm



# 【女袴の型紙 58cm】

横110cm

縦98cm



# 【女袴の型紙 58cm】

横140cm

縦56cm



## 01. 型紙を貼り合わせる

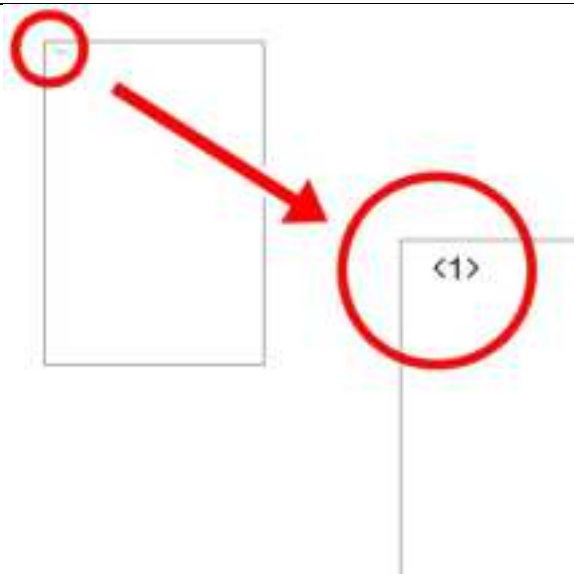
① 型紙に割り振られている番号を確認する。

〔番号は型紙の左上に記載

※①～④の右図は全型紙共通で使用しています。

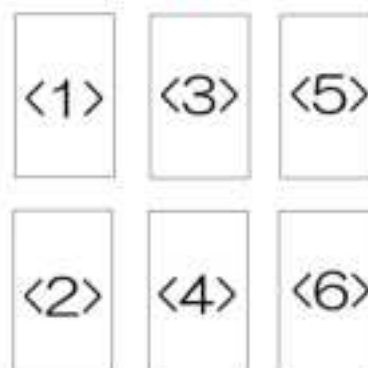
型紙の種類によって貼り合わせる枚数、数字は違います。

枚数、貼り合わせ数字については各型紙をご覧ください。

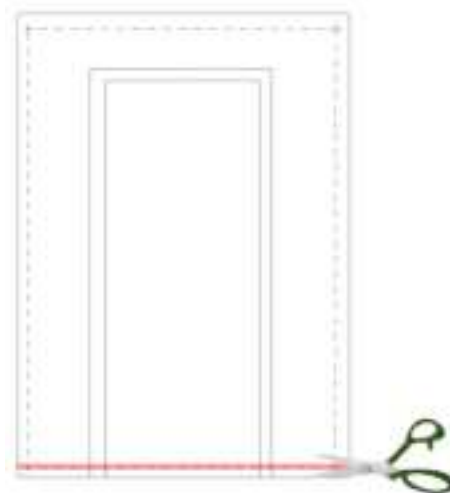


② <1>の型紙に記載されている通りに型紙を並べる。

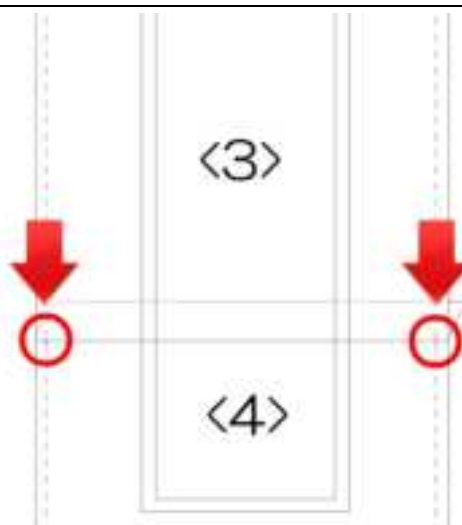
〔「青色の数字の型紙貼り合わせる」という箇所に記載。



③ 点線に沿って、型紙が繋がる方だけカットする。

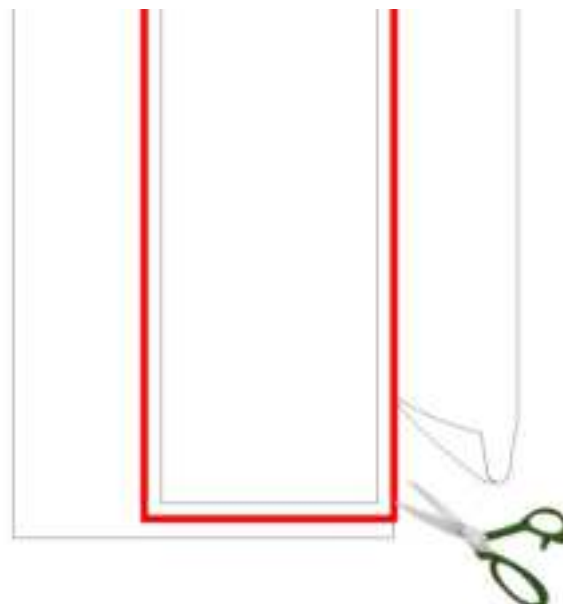


④ <5>の上側のガイドに③の下部を合わせて、表裏両方をテープで留める。



02. 型紙を切り取る。

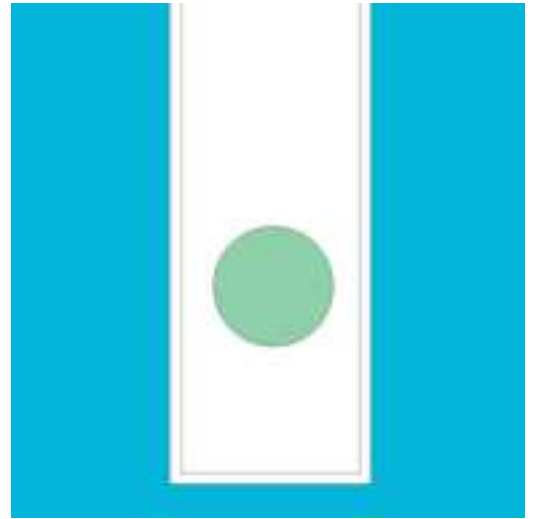
02~07の右図は全型紙共通で使用  
しています。





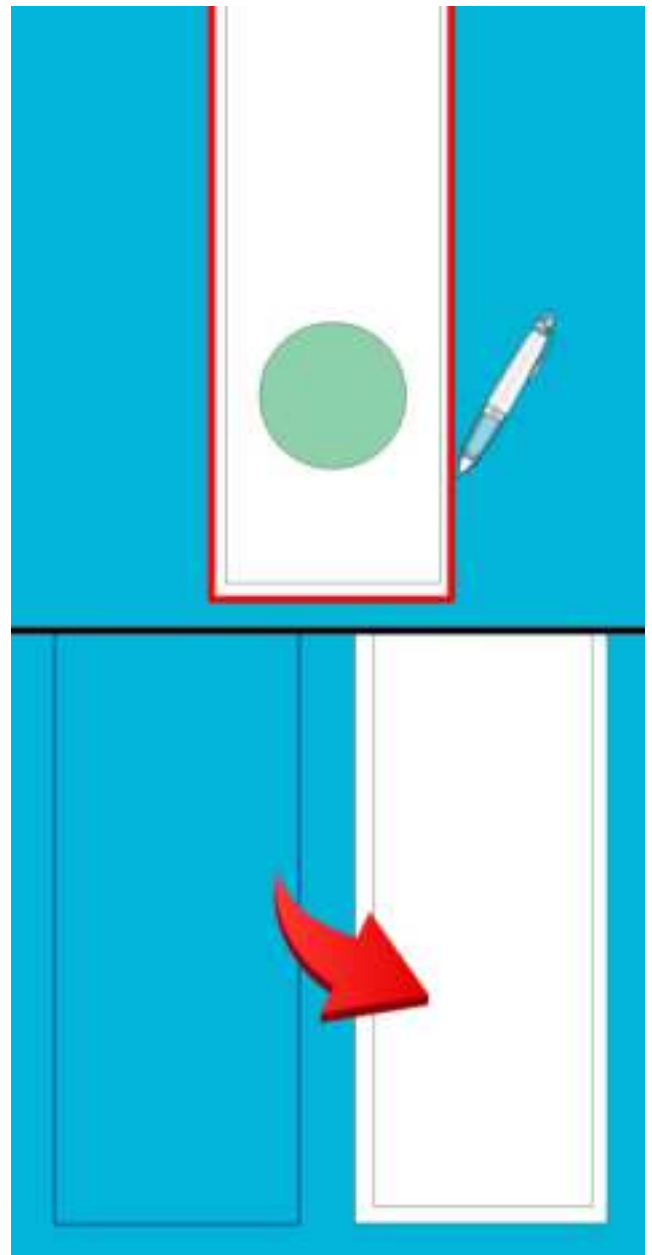
03. 布を裏にして型紙を置く。

〔まち針で留めず、ペーパーウェイト等で型紙が動かない様にする。〕

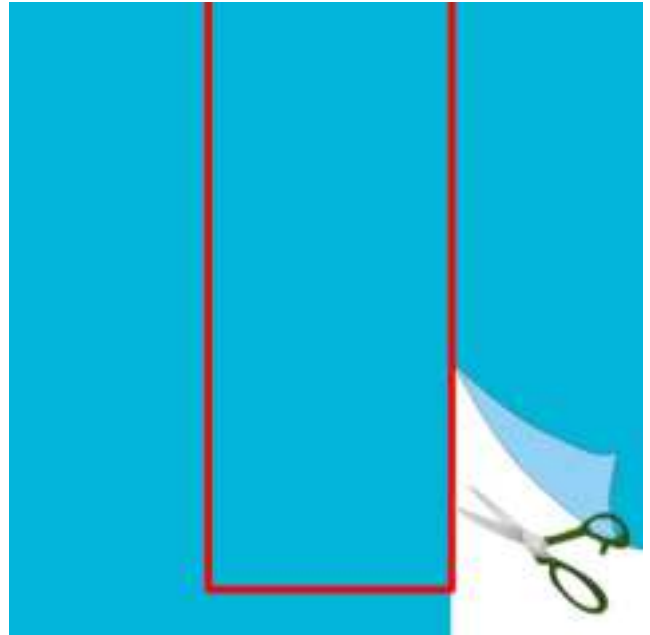


04. 型紙の外側をなぞって布に写す。写したら型紙は一旦避ける。

〔※オススメのチャコペン  
・カリスマシャープペンシル(使用中)  
・クロバー 水性チャコペン〕

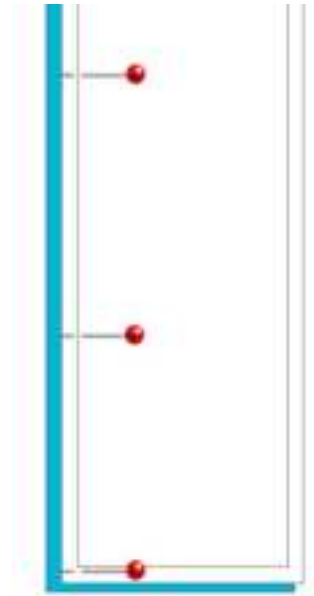


05. 04 で写した線に沿って布を切る。



06. 切り取った布に型紙をのせてまち針でとめる。

〔 型紙と布がずれないようにするだけなので、  
細かくとめる必要はない。〕



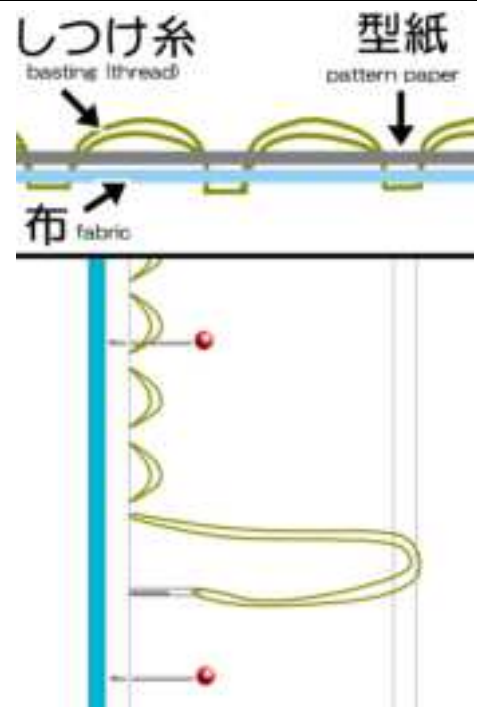
## 07. “切りじつけ” をする。(①～⑧)

- ① しつけ糸を針に通し、糸が2本になる様にする。  
〔玉止めはしない。〕



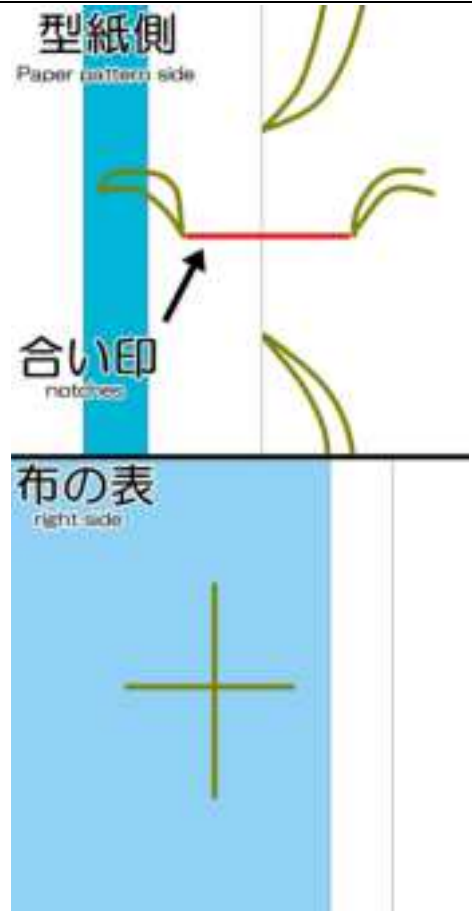
- ② 紙の上から出来上がり線に針を刺していく。  
A. 型紙から刺す  
B. 布を刺す  
C. 0.3cm 程度すくうように縫う  
D. 型紙を刺す  
E. 糸をたるませつつ 1.5cm 程度空けて再度型紙を刺す  
A～E を繰り返す。

〔上側はたるませて、下側の糸はたるませない。  
全ての線を写す必要はないので、細かく針を刺さなくても良い。〕





- ③ 角や合い印は下側(布側)から見て  
+ に見えるように針を刺す。



④ 上側のたるませた糸を切る。



⑤ まち針を抜く。

⑥ 糸を抜かない様に型紙だけを抜き取る。



⑦ 長い糸は 3mm 程度に切る。  
〔糸を抜き取らない様に注意。〕

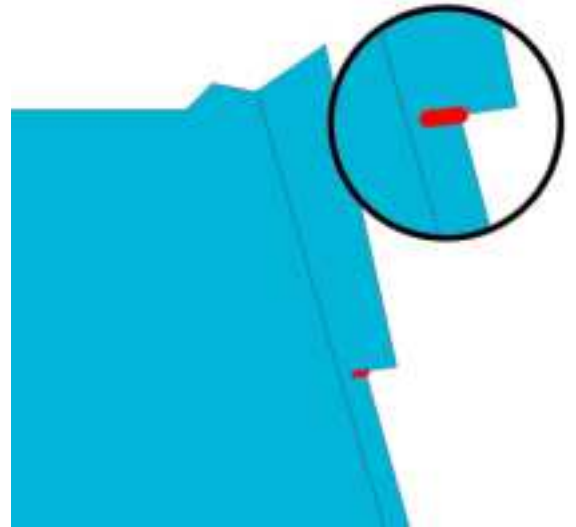


⑧ しつけ糸が抜けないうちに、  
アイロンか指で糸を寝かせる。



08. 前と後の図の場所に切り込みを入れる。

〔太線から 0.3cm くらい外側までにする。  
反対側も同じように切り込みを入れる。〕



09. 前と後のひだを折る。

① 折る場所に折り目加工液を塗布する。

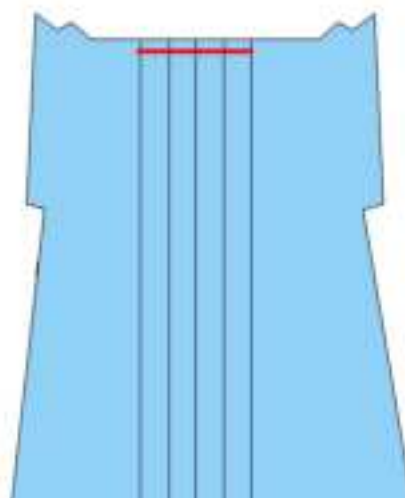


② 当て布をしてアイロンをかける。

〔 当て布：薄いハンカチや手ぬぐいを  
布地とアイロンの間に入れる布の事。〕

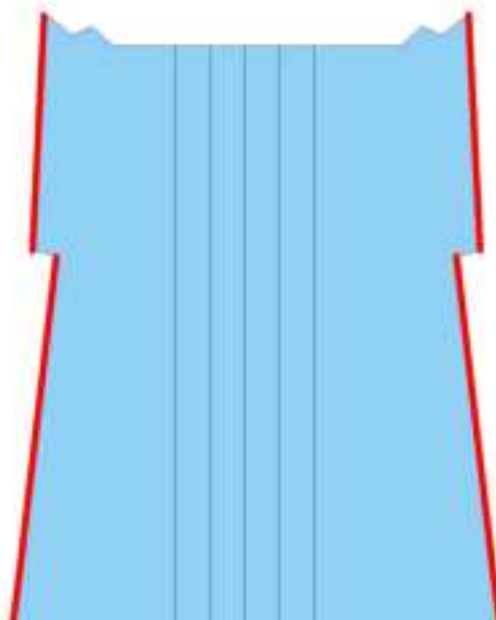


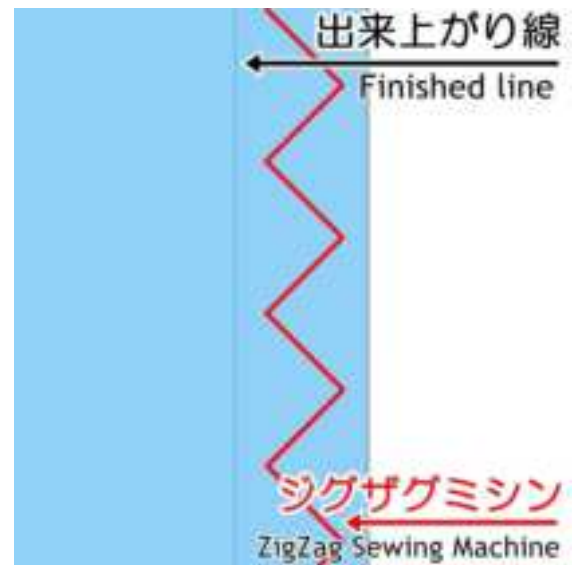
③ 折ったひだが開かない様に、仮縫いをする。



10. 前と後両方の端にロックミシンか、  
家庭用ミシンのジグザグで縫う。

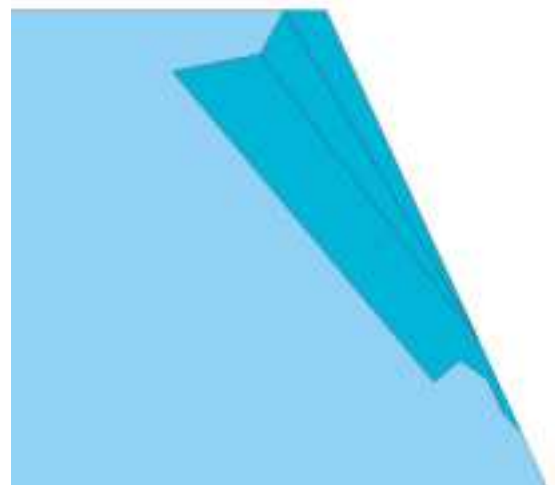
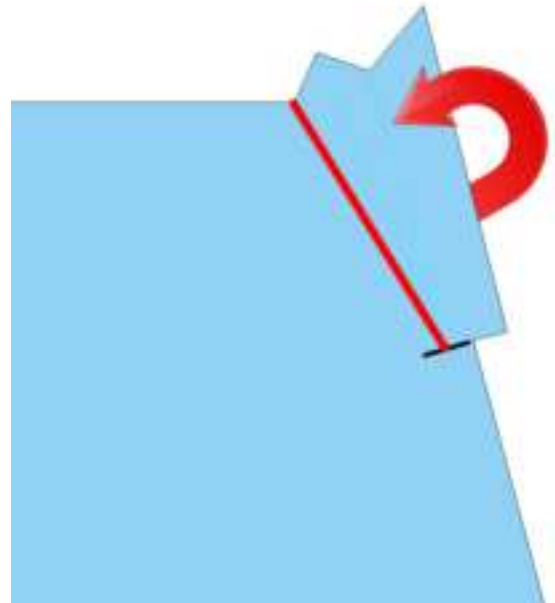
〔 家庭用ミシンの縫い目を左図にする。  
布端から針が落ちない様に、少し内側を縫う。〕





11. 上部を表が内側になるように山折線で折る。

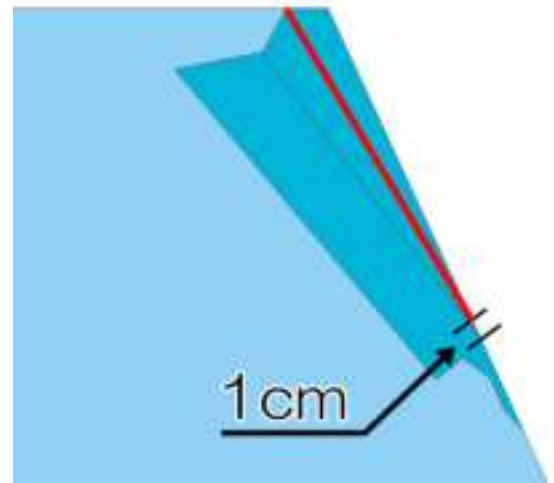
〔 前、後両方、反対側も同じように折る。〕





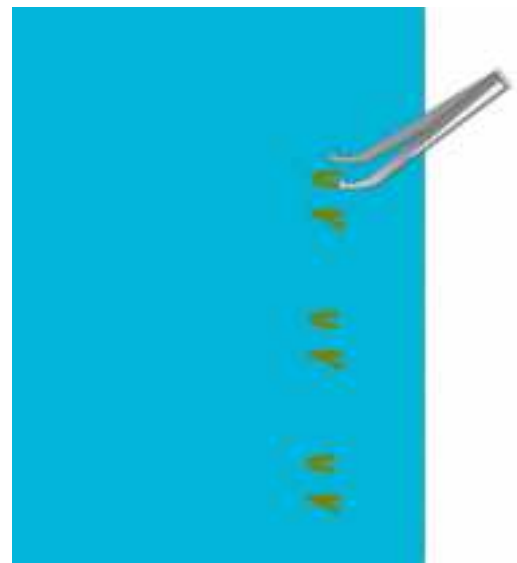
12. 谷折線のところを縫う。

〔09で折ったひだを巻き込まない様に注意。  
線の根元から1cmくらい開けて縫う。  
前、後両方、反対側も同じように折る。〕



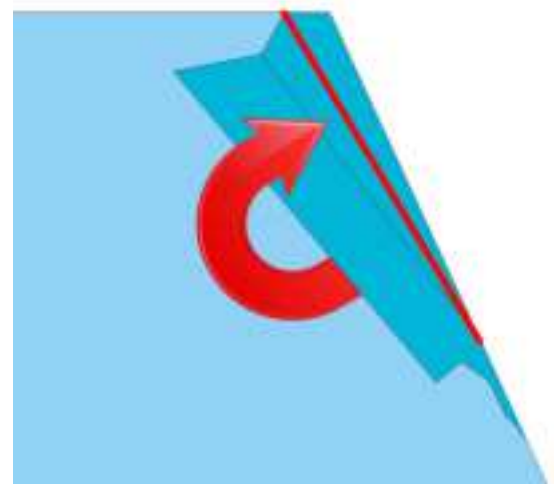
13. 12で縫ったところのしつけ糸を抜く。

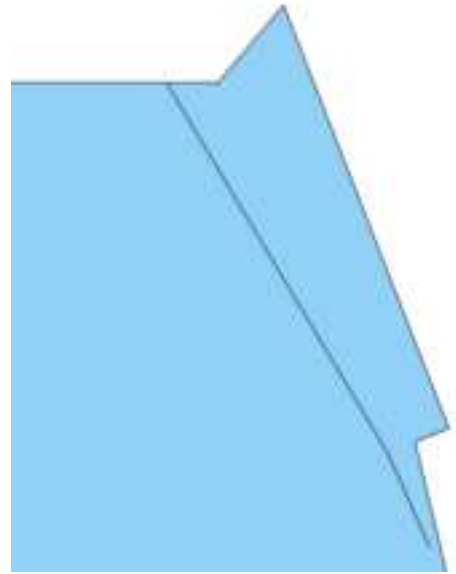
〔しつけ糸が取り辛い時は、糸抜きや毛抜き等で抜く。  
以降、縫ったら余分なしつけ糸はその都度抜いていく。〕



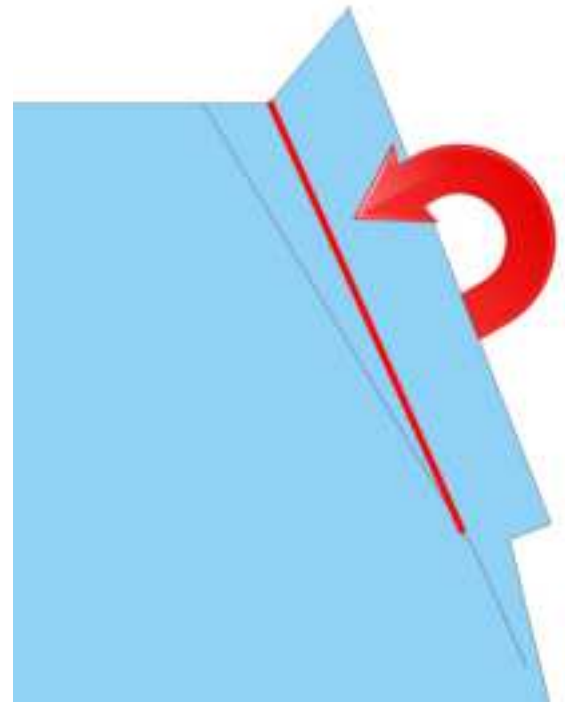
14. 12で縫ったところを基準にして、  
折り返してアイロンをかける。

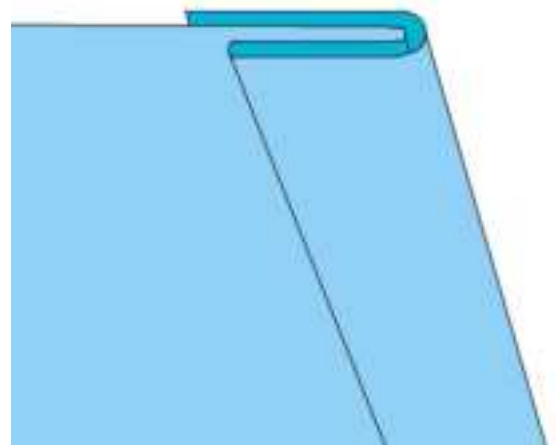
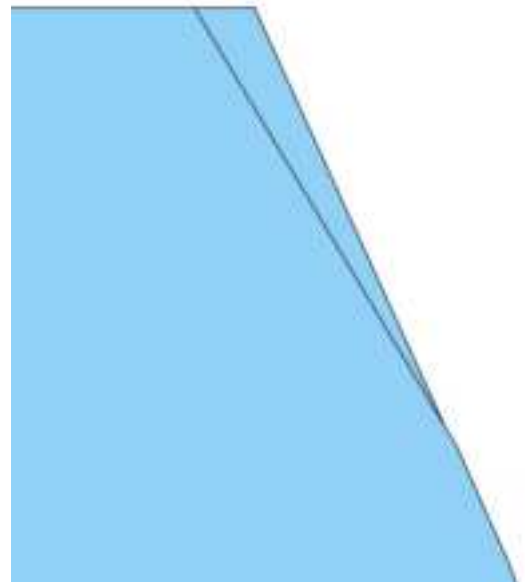
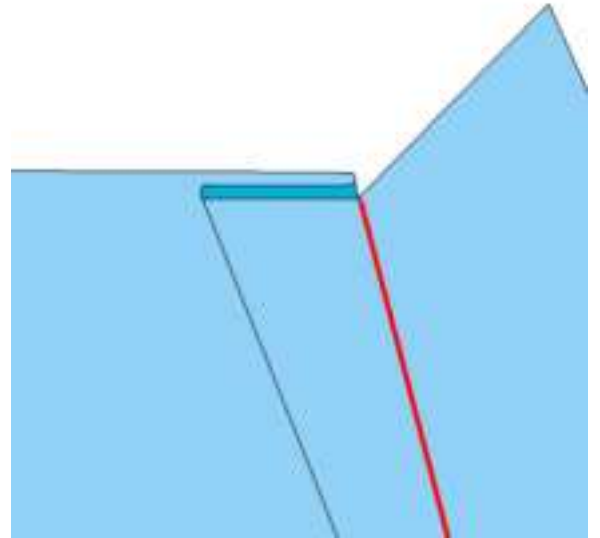
〔前、後両方、反対側も同じように折る。〕



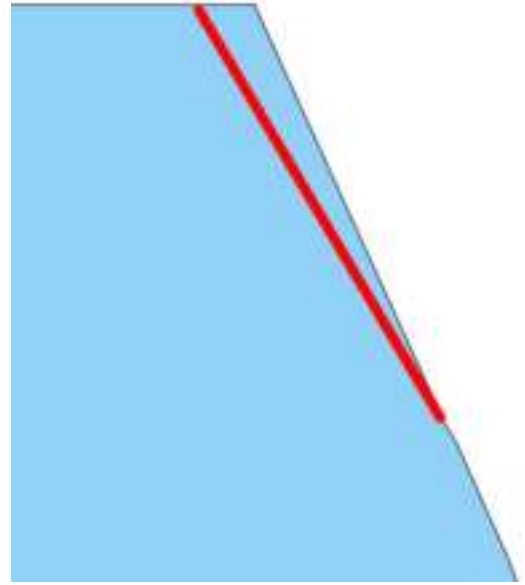


- 
15. 袋になったところを包む様に、縫い代を裏へ倒す。  
〔 前、後両方、反対側も同じように折る。〕

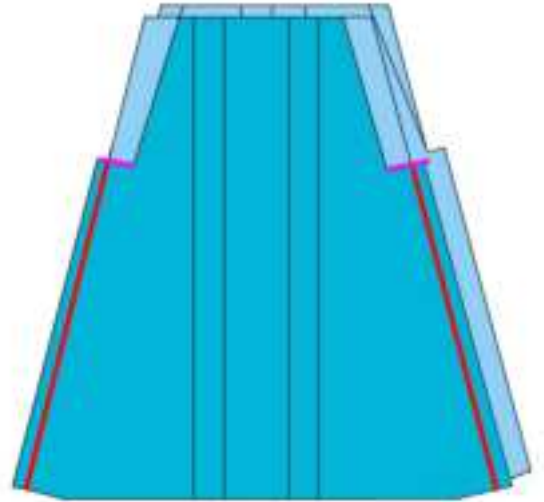




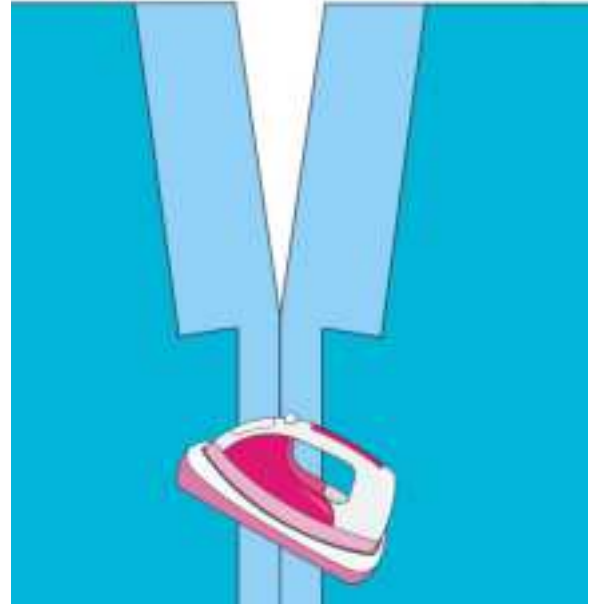
16. 12で縫ったところのギリギリを縫う。  
〔ミシンの縫い目が気になる場合は、手縫いで縫う。〕



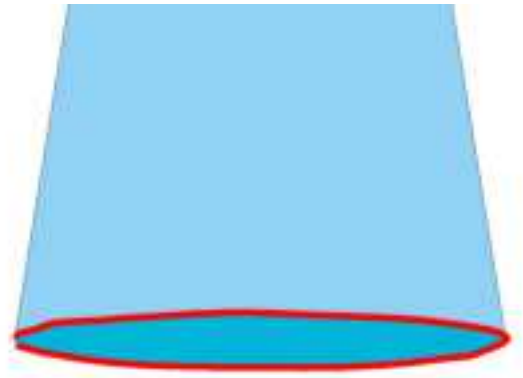
17. 前と後を表が内側になるように合わせて、  
開き止まりまで縫う。



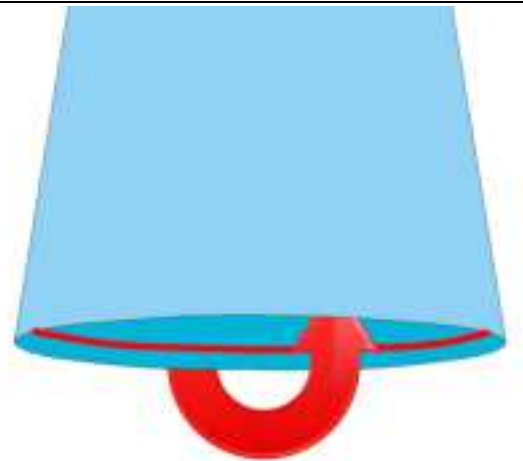
18. 16、17で縫ったところを開いて、アイロンをかける。  
〔反対側も同じようにアイロンをかける。〕

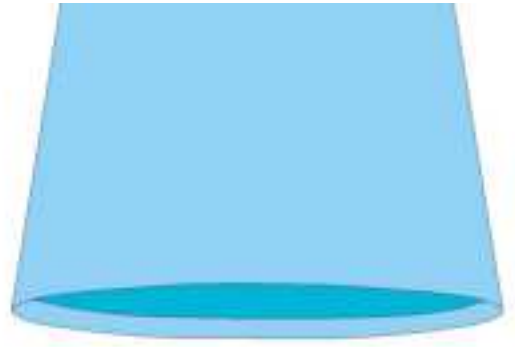


19. 裾をロックミシンか、家庭用ミシンのジグザグで縫う。

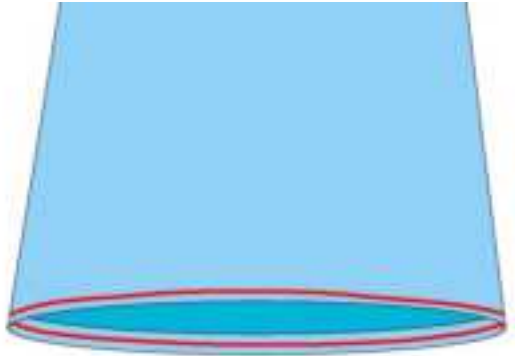


20. 裾の縫い代を内側へ折る。





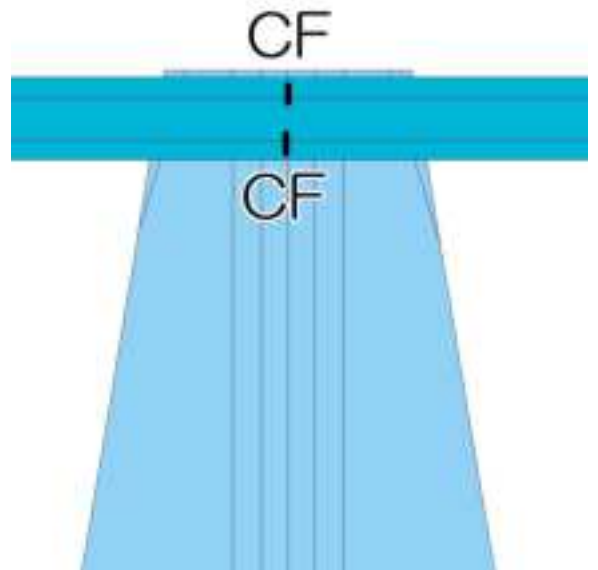
21. 縁を縫う。



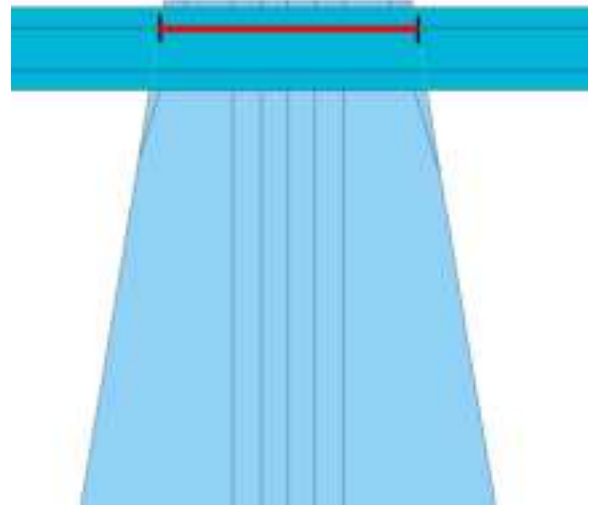
22. 前紐と後紐の上下を出来上がりの線で折り、アイロンをかける。



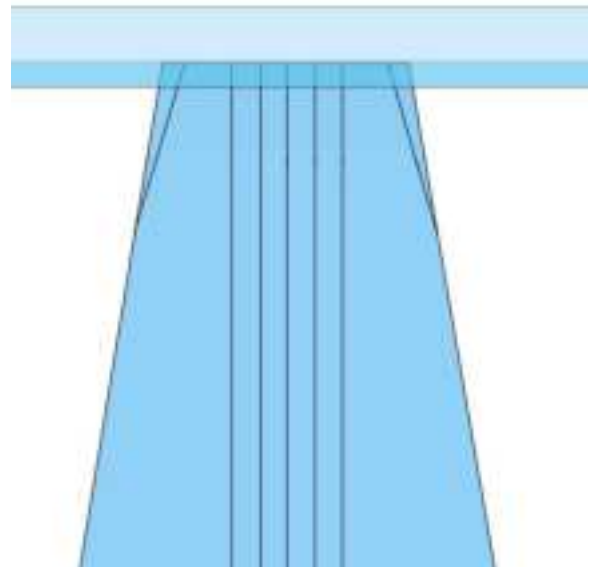
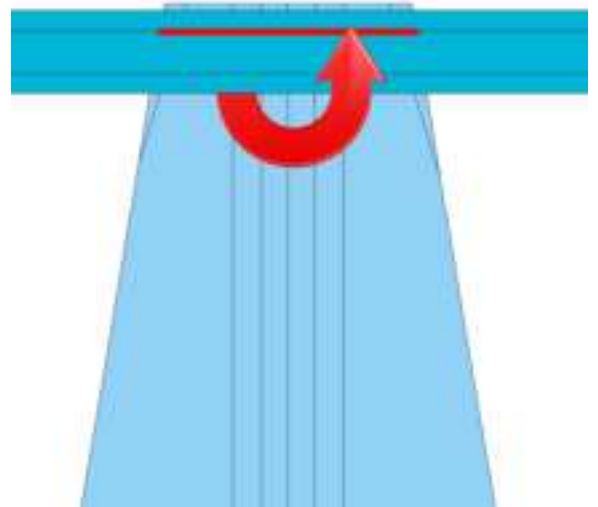
23. 前紐 CF と前 CF を、表が内側になるように合わせる。  
 [ CF:センターフロント。前中心線の事。



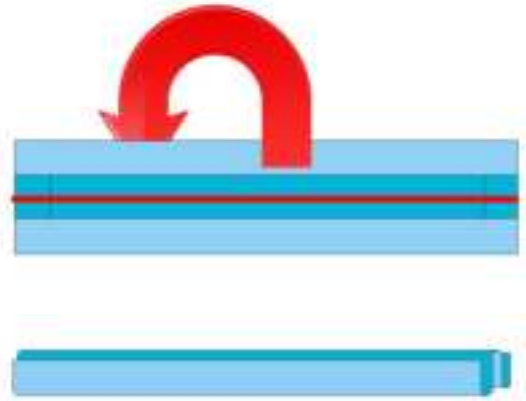
24. ”前”の幅分だけ縫う。



25. 前紐を 24 で縫ったところで折り返す。



26. 表が内側になるように中心で折る。

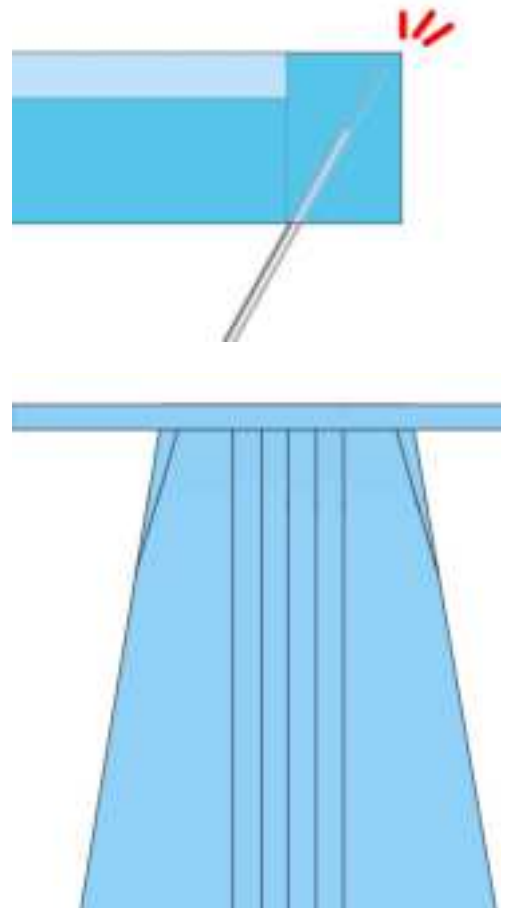


27. 両端を縫う。



28. ひっくり返して、太い針の“糸を通す方”で角を優しく押し出す。

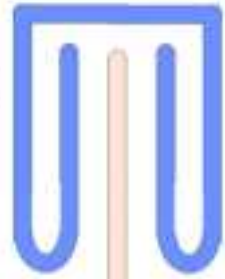
布団等の太い針を使う。  
 ない場合は竹串やつまようじの“尖っていない方”  
 などでも代用出来る。  
 あくまでも優しく内側から押して角を出す。  
 強く押ししたり、尖ったもので押ししたりすると  
 貫通し布が傷む可能性も。  
 反対側も同じように整える。





横から見た時  
side view

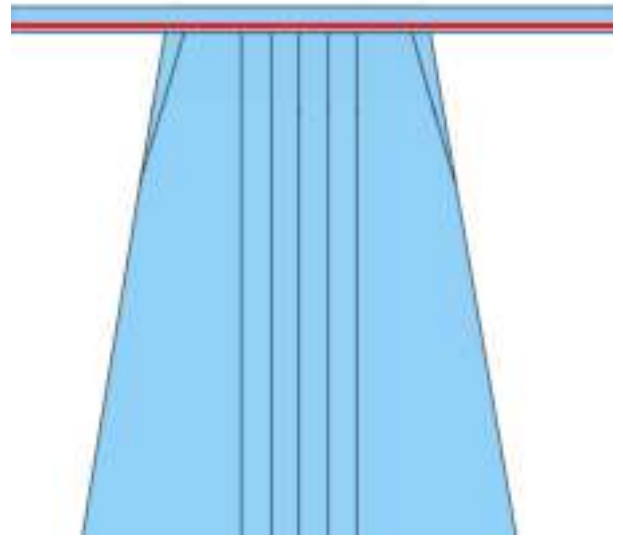
紐  
string



前パーツ  
front part

---

29. 前紐の端から端までを縫う。



---

30. 後紐も同じように縫う。

[ CB:センターバック。後中心線の事。

---

お疲れ様でした！